

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Tuesday 1 May 2018 (morning)

Mardi 1 mai 2018 (matin)

Martes 1 de mayo de 2018 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文^{エッセイ}を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 少なくとも2つの作品を取り上げ、登場人物間の対立、あるいは一人の登場人物の内面における対立・葛藤がどのように描かれ、またそれがどのような効果をもたらしているか比較・対比しなさい。
2. 小説の結末は何らかの「解決」をもたらすとどの程度言えるか。少なくとも2つの作品の結末を比較・対比しながら論じなさい。
3. 小説家は、何かが起こるということを暗示するために伏線を敷くことがある。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、伏線がどのように用いられ、またそれがどのような効果をもたらしているか論じなさい。

随筆・評論

4. 少なくとも2つの作品を取り上げ、シリアスなテーマでも読者が興味をもつことができるよう、著者がどのような手法を用いているか論じなさい。
5. 少なくとも2つの作品を取り上げ、設定や場所がどのような役割を果たし、またどの程度の効果をもたらしているか比較・対比しなさい。
6. 少なくとも2つの作品を取り上げ、主張をより明確に、表現をより豊かにするためにどのようなテクニックが用いられているか考察しなさい。

詩歌

7. 少なくとも2人の詩人を取り上げ、彼らが独自の世界観を表現するために用いている方法を比較・対比しなさい。
8. 「詩は、しばしば自分自身との葛藤から生まれるものである」。少なくとも2人の詩人を取り上げ、作品内で表現されている思考や感情がこのような葛藤からどのように生じているか考察し、その効果についても論じなさい。
9. 少なくとも2人の詩人を取り上げ、作品内で用いられている表現方法がどのようにして異なる解釈を可能にしているか論じなさい。

戯曲

10. 少なくとも2つの作品を取り上げ、場面の緊張感を作り出したり保ったりするために、戯曲家がどのような言語表現を用い、またそれが作品にどのような影響を与えているか比較・対比しなさい。
 11. 少なくとも2つの作品を取り上げ、主要登場人物の成長や変化を描くためにどのような手法が用いられているか比較・対比しなさい。
 12. 戯曲では、作品中に、踊り、音楽、歌が用いられることが多い。少なくとも2つの作品を取り上げ、これらの要素がどのような効果をもたらしているか比較・対比しなさい。
-